

1 当院に於ける病理検査室と超音波検査室
2 との合同勉強会の意義 ~病理マクロ・ミクロ所見
3 と超音波画像との対比 解剖実習を通して~
4

5 関口哲成(上尾中央医科グループ 津田沼中央総合
6 病院 病理検査室) 山口梨沙 佐々木仁美 関春菜
7 松浦幸子 藤沢一哉(同 中央検査室)
8

9 【目的】当院は上尾中央医科グループ 27 病院の内の一
10 つであり、この中で病理検査室を有する施設は当院
11 を含め 4 施設である。当病理検査室は、通常業務以
12 外にグループ内に於いて超音波検査委員会と共に勉
13 強会を開催しており、過去 2 回行った勉強会の内容
14 と、そのアンケートの結果について報告する【方法】
15 第 1 回勉強会は、胆嚢疾患の解説を行った。第 2 回
16 は、心臓疾患の解説とブタ心臓の解剖を行い、当院
17 病理医から組織構造のレクチャーを受けた。その後、
18 参加した検査技師を対象に以下の 10 項目の質問か
19 らなるアンケートを実施した。1.参考になったか、
20 2.難しいか 3.研修を活かせるか 4.説明できるか、
21 5.わかりやすい資料か、6.わかりやすい説明か、7.
22 研修時間はどうか 8.良かった点 9.難しかった点、
23 10.質問の有無である【結果】アンケートの結果は、
24 参加者にとって有効とした割合は、第 1 回目の参加
25 人数 21 名中 95%、第 2 回目の参加人数 22 名中 91%
26 であった。【考察】超音波検査の勉強会に、病理検査
27 室が参加して同一症例の超音波画像と病理画像を対
28 比・提示したことが、効果的であったと考えられた。
29 また、組織標本の解説や心臓の解剖を行うことは、
30 大変有意義であることがわかった。当病理検査室は
31 常日頃からセミナー等を開催し他科と連携をとって
32 おり、その際使用した資料が今回の勉強会に役立っ
33 た。また当勉強会は、技師が経験を重ねる為の発表
34 の場としても有用であった。【結論】超音波検査の技
35 術を習得する技師に対して当病理検査室での教育は
36 有効であり、且つ存在と重要性を確立することがで
37 きた。またグループ内に病理細胞検査委員会があり、
38 各委員会と合同でこのような勉強会を定期的に関催
39 していきたい。 047-477-5766